

## 証券市場情報システム

証券業界において、永年の課題であった市場の近代化、合理化を目指して、多量の市場情報を迅速、且つ正確に伝達するため、業務の質的向上を図った証券市場情報システムを開発した。

従来、市場において約定した株価の伝達は、人手により黒板に手書き表示されてきた。また投資家に対する情報の伝達は、短波放送、新聞情報が主体であったため、リアルタイムな株価情報を得られなかったが、本システムでは東京、大阪の両証券取引所に電子計算機を導入し、これらの諸問題を解決した。

すなわち、新システムは昭和49年9月から本格的稼働を開始したが、両取引所立会場内における株価表示の合理化を図るため、HITAC 8500改及びHITAC 8250改を設置し、専用端末からの入力株価を、即刻、場内の株価表示装置への表示と、関係機関へ回線による情報の送信とを行なっている。

一方、両取引所システムと通信回線で、市況情報センター(略称QUICK)に設置したHITAC 8450に結び、取引所からのデータに、海外株式及びニュースなどを加え、全国各地の証券会社店頭で設置された約3,300台のビデオ端末からの問合せに応じ、刻々変化する株価情報を公平、且つ迅速に提供している。

更に、両取引所システムの回線から従来の各証券会社店頭の手書き黒板に代わるものとして、株価通報テレビ及び店頭株価ボードをも設置している。

システムの主な特長

### (1) 証券取引所システム

- (a) 中央装置の一部改造と専用オペレーティングシステム(OS)を開発し、大量データの処理を可能とした。
- (b) デュプレックス方式による高い信頼度と安定性をもつシステムである。
- (c) 株価入力は、専用端末を開発して設置場所の縮小と操作性の向上とが実現できた。

### (2) QUICKシステム

- (a) 機器構成にロードシェア方式の



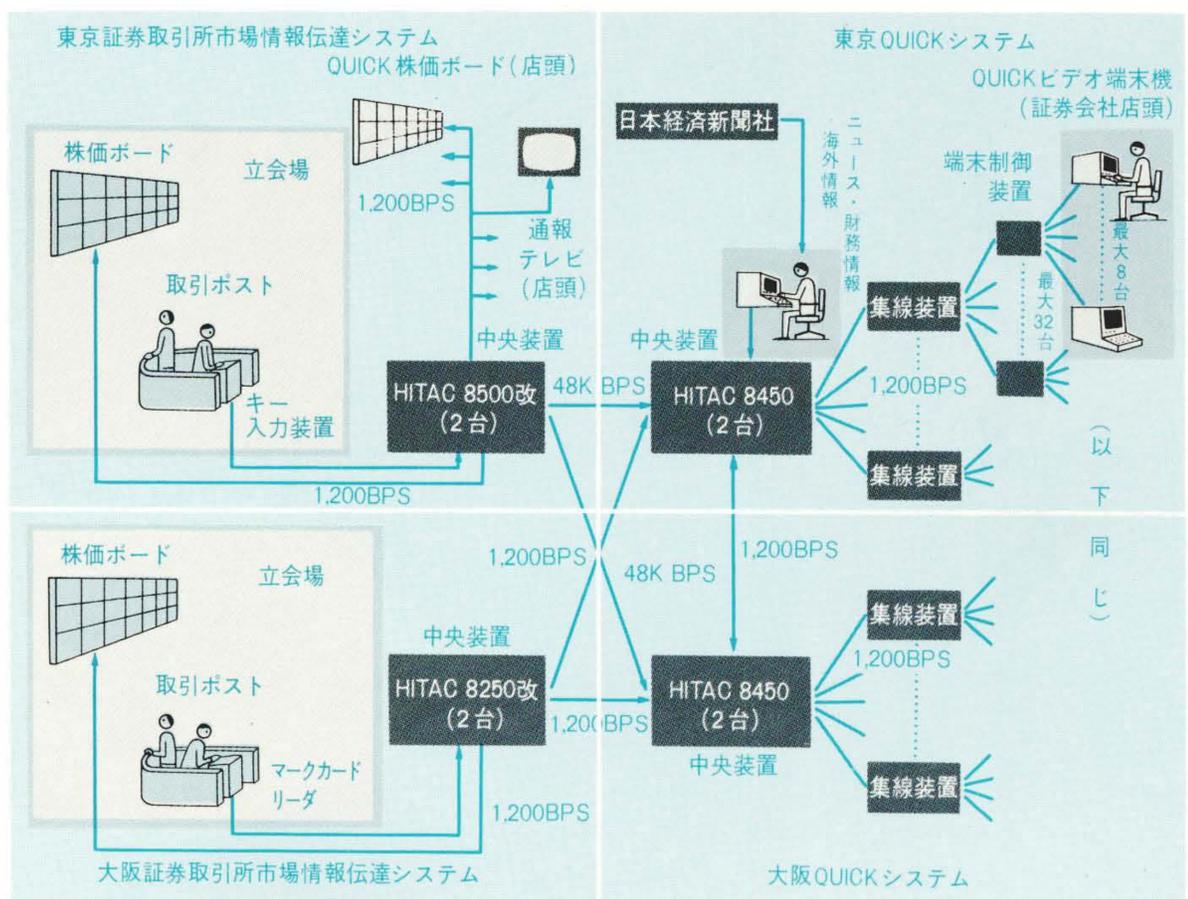
採用、専用OSの開発により、高処理能力及び高信頼度のシステムを実現している。

(b) 問合せには、小形で操作性の良い専用ビデオ端末を開発、使用している。

(c) 集線装置の開発により、回線料金の低減と、将来約6,000台に及ぶ多量端末への接続を可能とした。

この種のオンラインリアルタイムシステムは、我が国最初のものであり、投資家と証券市場との一体感を強め、公正な株価の形成、取引高の増大に寄与するところが大きい。

我々は更に、証券業界における情報伝達の未来の姿である、国際的な即時情報伝達システムの発展に期待したい。



市場情報伝達システムとQUICKシステムとの関連